



News Release

2026 年 10 月 28 日

各 位

株式会社 東北銀行

「東北農地リアル体験 2026」稲刈り体験会への参画について

～Ｊークレジット創出の現場・農地で学ぶ脱炭素農業の実践体験～

東北銀行（取締役頭取 佐藤 健志）は、株式会社フェイガー（代表取締役 石崎 貴紘、以下「フェイガー」）が企画・主催する「東北農地リアル体験 2026」稲刈り体験会に参画いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

本体験会は、フェイガーが発足した「Faeger Agri Commons※」の分科会で、当行も参画している「東北エリアにおけるカーボンクレジット地産地消推進協議体（以下「協議体」）」の活動の一環として実施され、本体験会の開催にあたっては当行が推進する「水稻栽培における中干し期間延長」によるＪークレジット創出にともに取り組んでいる農事組合法人となん（代表理事 平野 友則）のご協力により実現いたしました。

協議体は農業由来のカーボンクレジットへの解像度と共感を高めていただくことを目的に今年度より「東北農地リアル体験 2026」プログラムを始動いたしました。2026 年 5 月に実施された田植え体験会には当行も参加し、Ｊークレジット創出の現場である水田農地の実地調査を行い、中干し作業の様子を確認するとともに田植え作業の体験をいたしました。本体験会は、前回に引き続き、同じ水田農地での稲刈り体験として企画され、当日は、当行行員や参加企業の皆様が水田農地での作業を体験したほか、農事組合法人となんの皆様と今年のＪークレジット創出の取組みにおける工夫や昨今の農業を取り巻く環境や課題等について、深く意見を交わす意見交換会も行われました。

当行は、これまでもフェイガーとともに生産者の皆様のクレジット創出支援に積極的に取り組んでまいりました。今回の「対話と実践」を通じ、改めて農業の持続的な成長発展に向けた支援について、カーボンクレジットの活用を含めて、その機能を発揮していく重要性を強く再認識する有意義な機会となりました。

当行は、今後も生産者に寄り添いクレジット創出支援に取り組んでいくとともに、地域で生まれた農業由来クレジットを地域事業者へ販売し環境価値の地域循環も推進していくことで、生産者の所得向上を通じた農業の持続的発展と「地域力の向上」に努めてまいります。

記

1. 開催概要について

(1) 日時：2026 年 10 月 22 日（木） 13：00～16：00

(2) 場所

■意見交換会会場：農事組合法人となん 事務所（岩手県盛岡市下飯岡 14 地割 189）

■農地見学・稲刈り体験会場：岩手県盛岡市内水田



〒020-0023 盛岡市内丸3番1号

Kiki & Lala リトルツインスターズはとうぎんのイメージキャラクターです。©2023 SANRIO CO.,LTD. APPROVAL NO. L644645

【本件に関するお問い合わせ】
みらい創生部(担当:下新井田)
TEL：019-651-6173

【当日の様子】



2. 株式会社フェイガーについて

会 社 名	株式会社フェイガー		
所 在 地	東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 3 階 0 Club		
代 表 者	代表取締役 石崎 貴紘	設 立	2022 年 7 月 7 日
事 業 内 容	脱炭素型農業支援、カーボנקレジット創出・販売支援、耐候性ソリューションの研究開発		
特 記 事 項	第 68 回 J-クレジット制度認証委員会において、「水稻栽培における中干し期間の延長」プロジェクトにより、225,735t-CO2 のカーボנקレジット認証を取得。併せて、「バイオ炭の農地施用」による 27t-CO2 の認証も取得。		
U R L	https://faeger.company/		

3. 参考

- 「東北エリアにおけるカーボנקレジット地産地消推進協議体」への参加について

https://www.tohoku-bank.co.jp/corporate/eco/co2/pdf/co2_14.pdf

- 水田農地見学・田植え体験会への参画について

<https://www.tohoku-bank.co.jp/showimage/pdf?fileNo=1926>

※ Faeger Agri Commons : カーボנקレジットを通じた農業と企業の共創の場として
フェイガーが発足したコンソーシアム



以上